

第3回 放射線医学研究所 規制支援審議会 議事要旨 (案)

1. 開催日時：令和8年6月16日(火) 10:00～11:00
2. 開催場所：Teams 会議
3. 参加者：
 - 規制支援審議会
北澤委員(委員長)、吉澤委員
 - QST
角南監事、金田一監事
(放射線医学研究所)
内堀所長
研究推進室 渡部室長、西主査
原子力防災推進部 森田基幹高度被ばく医療支援センター事務局長
計測・線量評価部 栗原部長、古渡物理線量評価グループリーダー、
田上生活圈環境移行研究グループリーダー
4. 議事次第：
 - (1) 第2回放射線医学研究所規制支援審議会 議事要旨の確認について
 - (2) 規制支援関連研究等の中立性・透明性の確保の取組について
 - (3) 令和7年度の受託研究・共同研究等の実施及び寄附金等の受領について
 - (4) 研究協力協定の協力内容について
 - (5) 資源エネルギー庁からの受託研究について
 - (6) その他
5. 議事概要
 - (0) 内堀所長より開会に先立ち挨拶があり、その後渡部室長より出席者及び資料の確認があった。
以降、北澤委員長により議事が進行された。
 - (1) 前回議事要旨の確認について
渡部室長より第2回放射線医学研究所規制支援審議会の議事要旨について説明があった。
 - (2) 規制支援関連研究等の中立性・透明性の確保の取組について
渡部室長より規制支援関連研究等の中立性・透明性の確保の取組について説明があった。

(3) 令和7年度の受託研究・共同研究等の実施及び寄附金等の受領について

渡部室長より令和7年度の受託研究、共同研究等の実施及び寄附金等の受領について説明があった。

委員より今回新たに記載された受託研究の概要や再委託研究における放医研の役割について質問があり、担当者よりそれぞれ回答された。

(4) 研究協力協定の協力内容について

渡部室長より昨年度行った原子力事業者との打合せを紹介の上、同社との協定を含めた現在締結されている研究協力協定について説明があった。

委員より協定内容と実際に行われた打合せとの関係について質問があり、担当者より協定には研究協力について記載があるが、今回の打合せでは放射線医学研究所で行っている内部被ばくの際のバイオアッセイ技術の研究開発状況の紹介等が行われたとの回答があった。

(5) 資源エネルギー庁からの受託研究について

田上グループリーダーより「高レベル放射性廃棄物等の地層処分に関する技術開発事業（R5-R9年度）」の進捗状況について説明があった。

委員より研究についての情報公開を行っているかについて質問があり、担当者より回答された。データベースの客観性・中立性が保たれるよう示唆があった。

今回審議対象となった研究課題だけでなく、放医研の成果全般に関して、プレスリリースや発信を適時行うことが重要である点、意見が述べられ、所長から拝承との回答があった。

最後に、令和7年度の受託研究・共同研究等の実施及び寄附金等の受領の状況から、放射線医学研究所における規制支援関連研究等の中立性・透明性は確保されていることが確認された。

以上